

重要な仕事をしている人の手帳は白い

重要な仕事をしているのはどちら？

Aさんの手帳は、どの日も予定でびっしり。あふれたスケジュールで余白まで埋めつくされ、真っ黒に見えるほどの書き込みがある。一方、Bさんの手帳は余白が多く、予定もある期間にまとまってしか入っていない。多くの人は、Aさんのほうが「忙しく仕事のできるビジネスパーソン」であると思うだろう。しかしそれは間違いだ。

重要な仕事をするには、時間が分断されていないことが大切だ。そのためには、仕事に集中できる時間を確保することがどうしても必要である。

だから、手帳が真っ黒なAさんは、細切れで重要でない

手帳が真っ黒で、細かい予定で埋め尽くされている人



- ✕ 他人に振り回されて、重要でないアポイントや、無駄な打ち合わせ、会議に時間を奪われている。
- ✕ 仕事の優先順位を判断できていない場合が多い。
- ✕ 時間に追われて、重要な仕事がおろそかになりがち。
- ✕ 本当に重要な予定を入れる余地がない。

多くの用事に時間が分断され、それらにいつも追い回されているため、重要なことはできない。

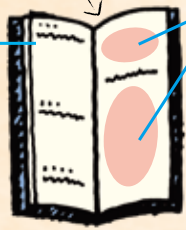


手帳が白く、あまり予定が入っていない人



- 無駄と判断したアポイントや打ち合わせ、会議は入れない。
- 重要な仕事とそうでない仕事の判断ができている。
- 白い部分で重要な仕事をしているため、仕事のメリハリがついている。
- 雑事に振り回されず、集中して重要な仕事に取り組んでいる。

アポイントや打ち合わせは、重要な仕事がない期間にまとめて入れる。



白い期間で、重要な仕事をしている。



仕事をしているだけ。手帳が真っ白なBさんこそ重要な仕事をして成果をあげている、という可能性が高いのだ。「用件を入れないなら手帳は必要あるまい」と言う人がいるかもしれないが、押し寄せる用件の中から本当に必要なものを選び出すために、手帳は不可欠である。

組織トップの人の手帳は白くなければ困る

もちろん、多くの予定を入れなければならない場合もあるだろう。ただし、スケジュール欄を埋めることがすなわち有能なビジネスパーソンの証拠だと勘違いしている人は、少なからず存在する。スケジュールが予定でいっぱいなのは、他人に振り回されている証拠ではない。

企業の経営者が15分刻みで人と会うことだけに毎日費やしているなら、その会社の将来は危うい。毎日とにかく切り抜けるだけに追われていることを意味するか。トップに立つ人は、組織の将来を考え抜くことだけに時間を使つてほしい。